

道連ニュース

2021年1月号 No.171

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

こくみん共済coop北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

新年あいつ

会長理事 麻田 信二



新年、明けましておめでとうございます。

迎えた2021（令和3）年が、生協運動に集う皆様にとりまして、より良き年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

2020年は、コロナ禍というこれまで経験したことのない一年になりましたが、皆様方の当会の活動へのご理解とご協力により、業務を滞りなく進めることが出来ました。厚く感謝申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、特別な出来事としては、当会が事務局に入り進めて来た協同組合の理念を共有する組織の緩やかな連合体づくりが、「協同組合ネット北海道」として実現しました。

また、核兵器廃絶を求めて国連に届けられた国際署名では、北海道70万筆余のうち当会関係では32万筆余が皆様のご協力により集まり、国連で採択された核兵器禁止条約は、加盟50か国での批准を得て、今年1月発効する運びになりました。

国内的には、2020東京オリンピック・パラリンピックが新型コロナウイルスの世界的な大流行から今年に延期されました。そして、このウイルスの感染拡大を防ぐため、様々な対策が実施され、一時は、収束に向かうかと思われましたが、政府が落ち込んだ経済を動かすためのGoToトラベル事業などを進めたこともあってか、11月に入り札幌市をはじめとして、感染は全道に拡大し、東京や大阪など大都市においても、急速に感染が拡大、12月になって、医療関係者から医療崩壊を懸念する声が出されるなど、収束の見通しが立たない状況になりました。

また、8月下旬、安倍首相が持病の再発を理由に辞任を表明し、菅官房長官が後継首相となりました。菅首相は、就任早々、日本学術会議の6人の会員任命を拒否しました。権力を持つ首相と考えを異にする者を排除するという、民主主義国家においては、あってはならないことです。

さらに、国会終末になって、安倍首相時の「桜を見る会」疑惑では、首相の国会答弁が偽りだったことが明らかに、森友・加計学園疑惑の国会答弁も虚偽

だったのではと思わざるを得ない状況です。安倍・菅首相の権力の私物化と国会軽視は、議会制民主政治の根幹を揺るがす大きな問題です。

国際的には、コロナの感染拡大で世界が揺れる中、イギリスのEU離脱、中国における香港民主派に対する弾圧とウイグル・チベットでの思想弾圧、民主主義国家のリーダー的存在であるアメリカでのトランプ大統領の言動に起因する社会の分断、中国経済の膨張と軍備拡張、世界進出からの米中対立など、国際社会は、不安定化してきています。

今回のコロナ禍は、戦後最大の危機と言われている中、地球温暖化やAI・バイオテクなどテクノロジーを巡る難題を抱えている今日の社会をどう立て直すのかが大きな課題ですが、第一次世界大戦後、戦争の惨禍を繰り返さないために国際連盟が設立されたものの、アメリカ発の世界大恐慌が起こり、第2次世界大戦の起因になった歴史が思い出されます。

歴史は繰り返すと言われていますが、コロナ禍による世界経済のダメージと民主主義政治の劣化が進んでいる内外の政治経済状況は、大恐慌後の時代に似ているように感じます。

大恐慌により世界中が混乱していた時代、我が国の協同組合運動の祖である賀川豊彦は、アメリカやヨーロッパ各地を回り、経済の再建と世界平和・人々の幸福には、協同組合の理念に基づく政治経済活動の重要性を訴えました。

生協人である私たちは、今日の歴史的な危機の時代、改めて賀川豊彦が訴えたことを想い起し、実践して行くことが重要であると考えているところです。

当会といえしまでも、北海道における生協の連合体としての使命と役割を果たして参りたいと考えておりますので、皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

今年が会員生協はもとより、協同組合の理念を共有する組織の皆さんの活動が一層前進し、それに携わる皆様方が、健康でご活躍する1年になることを切に願っています。

「お試しまる元」でまる元の拡大を目指します！

コープさっぽろ 組織本部 組織本部長補佐 吉田 洋一

コープさっぽろと NPO ソーシャルビジネス推進センターでは、協同で「お試しまる元」の取り組みを開始しました。これは現在23の自治体で実施しているまる元を2023年度までに35の自治体で実施するための取り組みです。今年度は5つの自治体で「お試しまる元」を実施予定ですが、次年度も同様に10か所で実施する予定です。

「お試しまる元」は、3か月間毎週まる元と同じ運動を行って、まる元がどういったものかを住民の方に実際に体験していただき、その効果を実感していただくものです。また、自治体の方にはその後の導入の判断材料にさせていただき取り組みです。実施費用についてはコープさっぽろと NPO で負担しますので、自治体の負担はありません。第1号となった初山別村は人口1,144人で高齢者が500人ほどですが、コープさっぽろ、留萌振興局と3者で食と健康をテーマに連携協定を結び、その第一弾として「お試しまる元」を開催

することになりました。11月9日から村内の2か所でお試しまる元を開催し、初山別地区では16名、豊岬地区では18名の参加があり、岡健康運動指導士の下、まる元を体験しました。当日はまず体力測定を実施し、参加者の状況の把握を行ってから運動を始めました。参加者の反応は良く、「楽しかった」「これなら続けられるからまた来るね」という声を多くいただいたそうです。

留萌振興局管内では初めてのまる元でしたので、振興局と管内の自治体の職員も参加しており、今後も「お試しまる元」に取り組む自治体が増えることを期待しています。

また、コープさっぽろの地域政策室で自治体を訪問した際にも、必ず「お試しまる元」をおすすめしていますが、この取り組みに興味を持っていただけたところが多くありますので、全道に広げていく予定です。



お知らせ！ ネット事務局会議で取組確認 Vol.3

協同組合ネット北海道事務局より、オンライン公開講演会開催のお知らせをいたします。

講師には執筆活動のほか、テレビ番組にも出演等されている立教大学大学院特認教授、慶應義塾大学名誉教授の金子勝先生をお迎えし、ZOOMによる形式での開催となります。

テーマ 「世界と日本の変化と私たちの暮らしへの影響」～協同組合への期待～

日時 2021年1月20日(水)13:00から15:00まで

形式 ZOOMを使用したリアルタイム配信

講師 金子 勝 先生（立教大学大学院特認教授、慶應義塾大学名誉教授）

申込期間 2020年12月1日(火)～2021年1月15日(金)

●お申し込みは下記の Web フォームを通じてお申込みください。

●北海道生協連 HP（新着情報）からもお申し込みいただけます。

<http://forms.gle/m37V6T54yHNmveiV7>

※後日、お申込み時にご入力いただいたメールアドレス宛てに参加方法などの詳細をご案内いたします。